

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
 (単独 連携事業)

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	益子町地域通貨運営事業	総事業費	1,841,090	869,684	929,358	929,358	929,358	5,498,848
		うち市町支出額	1,841,090	869,679	929,352	929,358	929,358	5,498,837
		うち県交付金	916,043	432,839	462,676	0	0	1,811,558
2	賑わい創出事業補助金事業	総事業費	0	0	1,574,780	1,365,196	1,355,000	4,294,976
		うち市町支出額	0	0	500,000	500,000	500,000	1,500,000
		うち県交付金	0	0	250,000	250,000	250,000	750,000
3	ましこ町民大学まちづくり事業	総事業費	0	0	214,200	69,382	183,893	467,475
		うち市町支出額	0	0	141,000	46,000	122,000	309,000
		うち県交付金	0	0	70,000	23,000	61,000	154,000
4	花のまちづくり事業	総事業費	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	55,000,000
		うち市町支出額	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	55,000,000
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
5	交流体験の翼事業	総事業費	0	0	0	1,648,829	1,450,000	3,098,829
		うち市町支出額	0	0	0	600,000	600,000	1,200,000
		うち県交付金	0	0	0	300,000	300,000	600,000
6	おもてなし補助金事業(陶器市巡回バス運行)	総事業費	0	1,009,728	1,011,096	1,454,910	1,000,000	4,475,734
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
7	おもてなし補助金事業(益子夜市)	総事業費	0	677,108	665,605	570,260	700,000	2,612,973
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
8	おもてなし補助金事業(益子さんぼ市)	総事業費	0	1,535,670	1,160,607	903,910	900,000	4,500,187
		うち市町支出額	0	300,000	262,607	300,000	300,000	1,162,607
		うち県交付金	0	150,000	131,303	150,000	0	431,303
9	おもてなし補助金事業(益子の新そば祭り)	総事業費	0	295,474	450,000	450,000	450,000	1,645,474
		うち市町支出額	0	196,982	300,000	300,000	300,000	1,096,982
		うち県交付金	0	98,491	150,000	150,000	0	398,491
10	おもてなし補助金事業(トレラン益子)	総事業費	0	604,810	650,000	650,000	650,000	2,554,810
		うち市町支出額	0	58,810	0	0	0	58,810
		うち県交付金	0	29,405	0	0	0	29,405
11	おもてなし補助金事業(ポターリングましこ)	総事業費	1,695,300	1,428,000	285,394	1,500,000	1,500,000	6,408,694
		うち市町支出額	300,000	300,000	190,262	0	0	790,262
		うち県交付金	150,000	150,000	95,131	0	0	395,131
12	おもてなし補助金事業(益子の雞めぐり)	総事業費	0	748,700	797,383	819,236	800,000	3,165,319
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
13	おもてなし補助金事業(ましこdeカフェ)	総事業費	0	0	0	450,000	450,000	900,000
		うち市町支出額	0	0	0	300,000	300,000	600,000
		うち県交付金	0	0	0	150,000	150,000	300,000
14	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)	総事業費	0	0	1,173,100	364,706	363,700	1,901,506
		うち市町支出額	0	0	782,000	242,000	242,000	1,266,000
		うち県交付金	0	0	391,000	121,000	121,000	633,000
15	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)	総事業費	0	0	400,000	600,400	600,000	1,600,400
		うち市町支出額	0	0	266,000	400,000	400,000	1,066,000
		うち県交付金	0	0	129,495	195,032	200,000	524,527
16	益子町地域創生活動費補助事業(益子の風土を未来に継ぐ、文化交流と地域コミュニティメディア創出事業)	総事業費	0	0	0	274,941	340,000	614,941
		うち市町支出額	0	0	0	178,000	199,000	377,000
		うち県交付金	0	0	0	89,000	99,000	188,000
市町計		総事業費	14,536,390	18,169,174	20,311,523	23,051,128	22,671,951	98,740,166
		うち市町支出額	13,141,090	13,625,471	15,271,221	15,695,358	15,792,358	73,525,498
		うち県交付金	1,066,043	1,310,735	3,129,605	2,878,032	2,181,000	10,565,415

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調書)
【単体事業】

市町名	益子町
事業名	賑わい創出事業補助金事業
事業主体の名称	益子町商工会
代表者の名称	会長 塚本 裕昭
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2044-1
事業主体の概要	団体の目的:会員企業の繁栄・発展と地区内商工業の振興発展に寄与する 設立年月日:昭和35年12月16日 構成員:会長1名、副会長2名、理事27名、監事2名、会員数623名
当該事業に係る地域の現状と課題	商店街は、商品やサービスの提供の場であるばかりではなく、地域の暮らしを支える生活基盤として多様なコミュニティ機能を持っており、地域住民が安心安全に生活できる環境維持に大きく貢献している。しかしながら、近隣自治体や町内においても大型商業施設の出店が相次ぎ商店街利用者数、町内商店数が、10年間で251店から178店まで減少していることは大きな課題である(出典:益子町統計書)。 このような大切な役割のある商店街に、にぎわいを創出させ、地域コミュニティ活動を活性化し、商店街の魅力を強化することにより、郷土愛を育むとともに通年をとって外から人を呼び込む施策づくりをしていく必要がある。
事業目的	各商店街に花の苗を配布し、栽培をしてもらうことで、地域内住民の世代を超えた活動・交流を促進するとともに、住民の郷土愛を醸成する。 また、商店が連携して景観を向上させることにより地域の魅力を高め観光客の回遊を促すことで、誘客と滞在時間の延伸を図り、通年型の賑わう観光まちづくりを実現する。 更に、各種イベントを実施することで、商店街の魅力を町内外に発信し新たな観光客を呼び込むとともに、地域住民の世代を超えた連携・交流を図る。
事業概要	【令和元年度】 商店街は、多様なコミュニティ機能を担い地域住民が安心安全に生活できる環境維持への役割を果たしてきたが、大型商業施設の増加や少子高齢化、人口減少による需要の縮小から商店街の衰退が課題となっている。そのため、地域の人々の賑わいある交流と観光客誘客の拡大を図り交流人口を創出するため以下の事業を実施し、地方創生の充実・強化につなげた。 【商店街景観向上事業】 商店街の景観向上を目的に花いっぱい運動と店頭清掃周知徹底運動を8月と12月に実施し、地域の魅力を高めるとともに地域住民間の交流を図るとともに、町内外からの観光交流人口の増加を目指した。 【地域活性化及び観光客誘客事業】 商店街に賑わいを創出するために、以下の事業を実施し、商店街の益子ならではの魅力を広くPRするとともに、地域住民の世代を超えた交流や郷土愛の醸成、そして交流人口の増加を図り、各小売店への集客と販売促進を目指した。 ・ビルマ汁PR事業(7月開催:益子のローカルフードであるビルマ汁の食べ比べを行い地域の魅力をPR。) ・まじこTOYBOX事業(12月開催:子供たちのダンス等を発表する傍ら農工商が連携し地元食材やグルメのPR。) ・雑めくり事業の支援(2月~3月開催:商店街の店舗にお雑揉を飾り町内外の方に巡ってもらおう。また、仮装イベント等も実施。)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:風土に根ざした産業をつくる KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】令和元年度 291.0万人 観光客宿泊者数 【基準値】平成26年度 1.7万人 【目標値】令和元年度 28,000人 令和2年度 30,000人 【実績値】令和元年度 47,550人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H30年度	R1年度	R2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	賑わい創出補助金事業	賑わい創出補助金事業	賑わい創出補助金事業		
事業費	1,574,780	1,365,186	1,355,000	4,294,976	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,074,780	865,186	855,000	2,794,976	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光商工課商工係
担当者名	高塚悦子
電話	0285-72-8845
FAX	0285-70-1180
E-mail	bankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	賑わい創出事業補助金事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町交付金(賑わい創出事業補助金)	500,000	
商工会事業費	408,129	
商工会青年部事業費	381,967	
雑入	75,100	ビルマ汁フェスティバル売上げ代他
計	1,365,196	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	10,000			10,000	謝礼
消耗品	670,101	300,000	150,000	370,101	花苗代等
燃料費	11,880			11,880	ガス代等
食料費	31,600			31,600	お弁当代、お茶代他
印刷製本費	298,199	200,000	100,000	98,199	ポスター、チラシ印刷代他
保険料	17,210			17,210	イベント保険
使用料及び手数料	7,950			7,950	会場使用料、ごみ処分手数料
通信運搬費	756			756	郵送代
委託料	317,500			317,500	舞台設営、音響代、出演委託他
計	1,365,196	500,000	250,000	865,196	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	ましこ町民大学まちづくり事業
事業主体の名称	ましこ町民大学第6期生
代表者の名称	福田 晴紳
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町七井2498-1
事業主体の概要	・団体の目的:平成30年度実施事業である「ましこ町民大学アクションプラン」の実行のために設立 ・設立年月日:平成31年2月2日 ・構成員等:井口まり子、大久保幸社、大塚善子、大西昌子、大山洋子、黒瀬君枝、近藤進、坂本幸、仙波二三男、高崎秀人、榎見草、鶴見武、手塚朗彦、奈良部典江、福田晴紳、重三郎、法師人文子、三村謙一、三村真由、森井登、渡辺麻美、渡部信一
当該事業に係る地域の現状と課題	●益子町では、平成10年～13年の4年間で開設した「ましこ町民大学」の卒業生119名が、現在、それぞれの地域や立場で活躍している。しかしながら、現在活躍している卒業生は、当時の平均年齢で54歳、そこから17年が経過し、平均年齢は74歳となり、高齢化してきている。そして、今後の地域活動を担う後継者の育成が課題となっている。 そこで、自分たちの住む町の良さや課題点を学ぶ機会を設けることで、地域への関心を醸成し、地域の課題解決に取り組む協働のまちづくりの実践者を育成するため、昨年度に引き続き町民大学第6期を実施した。講座の中で、グループごとにテーマを決め、自分達に出来ることでまちづくりを実践していく「アクションプラン」を作成した。平成31年度はその実践の年になる。
事業目的	ましこ町民大学の卒業生が益子町まちづくり基本条例の住民自治の考えにより、地域課題の解決やより良い地域づくりに関する実践活動を通して人材育成を目的とする。
事業概要	【令和元年度】 ●益子町に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業「ましここども農園学校」を実施・展開していく。そのために、今年度は実際に畑を耕作して農業のノウハウを得たり、地域住民との交流を重ね、長期的な事業活動の環境と体制作りを段階的に進めた。益子町を面白くするステージを創る人材を育成する場を提供していくことで地方創生につなげた。 具体的に一年間を通して約700㎡の畑で年間25品目を生産。7・8・11月に農業体験イベントの実施。夏期に地域住民との交流。随時、SNSで事業活動を情報発信。フライヤーを8月に秋号、2月に春号を発行。 ●益子町の様々な施設やお店の情報をジャンル別にまとめたマップを作成。役場や道の駅、益子移住定住協働民間不動産業者の事業所などに配置した。転入者に優しい町づくりを行い、転入者を増やし、人口減少に歯止めをかけることで地方創生につなげた。 具体的に9月までに聞き取り調査。グーグルマップに落とし込み。10月から翌年1月マップ作成。2月にマップを中央公民館役場等に配架。 ●高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等(会話やラジカセを使って一緒に歌う、身の回りで困ったことよつとしたお手伝い)をしながら一緒に過ごす見守り活動等を行った。広報する事で活動を町民大学卒業生メンバーのみならずましこ町民全体に広げた。高齢者に優しい町であることをアピールし、転入者を増やし、人口減少に歯止めをかけることで地方創生につなげた。 具体的に9月まで9月号で訪問してほしい高齢者世帯を募る。随時、SNS等で活動内容についての情報発信。冬期に公民館等で高齢者及び地域の人たちを対象としたイベントを実施。 【令和2年度以降】 令和2年度以降も、平成31年度と同様に、より良い地域づくりに関する実践活動を通して人材育成を行う事業を継続する。 ・益子町に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業の実践者や参加者を増やしていく。 ・益子町の様々な施設やお店の情報をジャンル別にまとめたマップの更新。 ・高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等をしながら一緒に過ごす見守り活動等を行う仲間をふやしていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:社会的に自立した人を育てる KPI:町民学士認定者数【基準値】H29年度 129人 【目標値】H31年度 220人 H32年度 250人 【実績値】H29年度 25人、H30年度 22人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

事業内容	H30年度		令和元年度		令和2年度		支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
	事業費	補助金	事業費	補助金	事業費	補助金		
事業内容	・各種団体と連携して、イベント等でカードを作るワークショップを行う。 ・Facebookを活用し、町民視点で益子町の紹介発信する。 ・清掃事業、案内看板、バイクスタンドの設置。 ・子育て支援センターの字事業にボランティアで支援。		・益子に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業を実施・展開していく。 ・益子町の様々な施設やお店の情報をジャンル別にまとめたマップを作成、配置する。 ・高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等をしながら一緒に過ごす見守り活動等を行う。		・益子に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業の実践者や参加者を増やしていく。 ・マップの更新。 ・高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等をしながら一緒に過ごす見守り活動等を行う仲間をふやしていく。		・益子に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業の実践者や参加者を増やしていく。 ・マップの更新。 ・高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等をしながら一緒に過ごす見守り活動等を行う仲間をふやしていく。	
事業費	214,200		69,382		183,893		487,475	183,893
市町支出金(ソフト事業分)	141,000		46,000		122,000		309,000	122,000
うち県交付金	70,000		23,000		61,000		154,000	
市町支出金(ハード事業分)							0	
うち県交付金							0	
その他自主財源等	73,200		23,382		61,893		158,475	61,893

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	生涯学習課生涯学習係
担当者名	木村幸恵
電話	0285-72-3101
連絡先 FAX	0285-72-3110
E-mail	syvnu@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ町民大学まちづくり事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
ましこ町民大学まちづくり活動補助金	46,000	A班「ましこども農園学校」総事業費37,667円 B班「MMM大作戦(ましこマストマップ)」総事業費31,715円
会員自費	23,382	補助率2/3
計	69,382	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	32,523	32,000	16,000	523	種苗、農業資材、事務用品等
食糧費	2,094	0	0	2,094	農作業時お茶、
印刷製本費	11,115	11,000	5,500	115	マップ・名刺
使用料及び賃借料	18,630	3,000	1,500	15,630	Adobeコンプリートプラン
備品購入費	0	0		0	
旅費	3,520	0	0	3,520	マップ制作情報収集時ガソリン代
光熱水費	1,500	0	0	1,500	ガス代
				0	
				0	
				0	
計	69,382	46,000	23,000	23,382	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名

益子町

事業名

花のまちづくり事業

事業主体の名称

ましこ花のまちづくり実行委員会

代表者の名称

ましこ花のまちづくり実行委員長 大塚 朋之

事業主体の所在

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町大字益子3667番地3

事業主体の概要

・団体の目的:益子町の花のまちづくり事業推進するため
・設立年月日:平成20年7月9日
・構成員等:事務局(益子町生涯学習課)及び関係団体

当該事業に係る地域の現状と課題

本町は益子焼などの基幹産業を中心とした観光の町として多くの地域資源を有する一方、高齢化や人口減少が進み将来に渡って益子町の地域の活性化や新たな地域資源を創出することが困難になってきている。
花のまちづくり事業は、大規模花畑の作付やイベントを地域住民が主体となって取り組むことで新たな地域資源を創り出すと同時に、地域活性化を図る目的で始められ、ひまわり、コスモス各花畑は昨年度無事、10回目を迎え益子の新たな名物として定着している。その結果、すでに県内外から花畑を目的とした観光客も多く訪れており、知名度は年々高まっている。
今後、本事業を実施し、より発展していくことで交流人口の増加、地域活性化へ繋げ、現在から将来に渡り活気ある魅力的な町となるよう取り組みを続けていく必要がある。

事業目的

美しい田園風景を有する町内上山、生田目地区において、大規模花畑の作付・イベントを開催することで、新たなまちの魅力を創出し、観光交流人口の増加・滞在時間の延伸を図る。
また、地域住民が主体となり花の栽培を行うことで、地域間の交流・世代間交流を促進させ、地域活性化・郷土愛の醸成を図る。

事業概要

【令和元年度】
《開催期間》ひまわり畑 8月10日(土)~8月18日(日) 来場者数46,865人
8月10日 オープニングセレモニー、HULA O MOANA(フラダンス)、田野保育園(和太鼓演奏) 出演
8月11日 東田井お囃子会(お囃子)、春咲さかり(フォークソング) 出演
8月17日 春咲さかり(フォークソング)
8月18日 東田井お囃子会(お囃子)
期間中を通して農産物の販売を行った。期間中一部業者出店(飲食物)
野木町、上三川町、益子町3町合同によるサンサンスタンプラリー、インスタフォトコンテスト(新事業)の実施
《開催期間》コスモス畑 10月5日(土)~10月20日(日) 来場者数9,751人
※台風19号の影響により10月11日(金)より中止
10月5日 オープニングセレモニー、HULA O MOANA(フラダンス)、たから幼稚園(歌)、春咲さかり(フォークソング)
10月6日 東田井お囃子会(お囃子)
期間中農産物の販売を行った。
【令和2年度以降】
①オープニングセレモニーの実施②演奏等のイベントの実施③農産物の販売

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

基本目標:風土に根ざした産業をつくる
KPI:
年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人
【実績値】平成30年度 275.3万人
観光客宿泊者数 【基準値】平成26年度 1.7万人 【目標値】令和元年度 28,000人 令和2年度 30,000人
【実績値】平成30年度 47,515人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・花のまちづくり事業 ①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売	・花のまちづくり事業 ①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売	・花のまちづくり事業 ①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売		
事業費	11,000,000	11,000,000	11,000,000	33,000,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,331,000	2,246,386	2,576,000	7,153,386	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	8,669,000	8,753,614	8,424,000	25,846,614	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課
担当者名	添野 翔平
電話	0285-72-3101
FAX	0285-72-3110
E-mail	svouza@town.meshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ花のまちづくり事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	11,000,000	町交付金
計	11,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考
		市町支出額		
		県交付金	自主財源等	
消耗品費	2,108,000	1,593,758	1,000,000	案内看板材料費等、ひまわり種子代、コスモス種子代
食糧費	4,000	0		会議時飲み物代
印刷製本費	328,000	311,602		ポスター・チラシ作成料
通信運搬費	57,000	74,996		ポスター・チラシ送付代
広告費	108,000	109,390		メディア掲載費
手数料	5,000	6,640		振込手数料、ゴミ処分費
委託料	6,000,000	6,000,000		花栽培費(ハード事業) ※土づくり、花畑の整備及び維持管理等
工事請負費	2,240,000	2,753,614		展望台、イベント用テント、仮設トイレ設置費(ハード事業)
負担金及び交付金	150,000	150,000		
計	11,000,000	11,000,000	1,000,000	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
 連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。
 1 市町のみで事業を実施する場合
 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	交流体験の翼事業
事業主体の名称	益子町地域間交流協会
代表者の名称	会長 渡邊重雄
事業主体の所在	〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町大字益子
事業主体の概要	<p>・団体の目的:国内外を問わず特定地域との教育、文化及び産業等の交流をととして、地域間相互の理解と親善を深めながら地域の振興と文化の高揚に貢献する。</p> <p>・設立年月日:平成8年4月21日</p> <p>・構成員等:会長1名 渡邊重雄、副会長2名 高橋彰 鈴木京子、常任理事8名 富田兵哉 平野良和 法師人弘 牟田紀一 日下田正 藤原都三 八木幸子 塚本純子 理事13名 東條慶子 大河原道男 神田幸子 松崎道子 関口勝義 塚本裕昭 外池茂樹 廣田茂十郎 日下田由紀 高橋美江 藤附道明 中村諫 出口泰人、監事2名 大岡忠男 大塚文幸、事務局員1名 石川幸男 計27名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>益子町の年少人口(0～14歳)は、平成17年の3,496人から平成27年の2,882人と、614人も減少している(H27国勢調査)。この大幅な年少人口の減少に伴い、子供会等の子供に各種体験活動・他地域で文化体験をする機会を提供する団体・機会は年々縮小傾向にあり、他地域の文化を体験する機会にあっては益々減ってきている。</p> <p>そのような中、総合戦略にて本町がめざす、持続可能なコミュニティを創出し地方創生の充実・強化を図るには、生涯にわたって自治意識をもち、社会や地域に積極的に関わり、自分らしい生き方を見いだし、地域・社会活動をする人財が育つ環境を整えることが課題となっており、子供たちに他地域での様々な交流体験の機会を提供することが必要となっている。</p>
事業目的	<p>益子町の友好都市である「北海道雄武町」の雄大な自然の中で、益子ではできない交流活動や生活体験の機会をあたえることにより、自立心・責任感、感謝する心を培う。また、心身ともに健康で、たくましい子どもが育つ取組を行うことにより、次代を担う人財の育成を目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和元年】</p> <p>町内小学生が夏休みの期間に親元を離れ、「北海道雄武町」の雄大な自然の中で、普段体験できない自然体験や他地域の方々との交流、小学生同士での宿泊生活等が経験できる本事業を実施することにより、総合戦略にて本町がめざす、「生涯にわたって自治意識をもち、社会や地域に積極的に関わり、自分らしい生き方を見いだし、地域・社会活動をする人財」を育てる環境を整える。</p> <p>更に、持続可能なコミュニティを創出し、地方創生の充実・強化を図っていくため、以下の事業を実施する。</p> <p>なお、平成11年度から平成30年度までに372名の町内小学生が参加しており、その後ジュニアリーダーや各種ボランティア活動に積極的に参加する児童は多くなっている。</p> <p>○7月13日(土) 交流体験に参加する児童たちによる結団式を実施 ○8月1日(木)～8月4日(日) 北海道雄武町による体験学習 ・8月1日(木):出発式・益子町発～羽田空港～成田空港～雄武町(とっかりセンター、流水科学センター)～雄武町到着(雄武町役場での表敬訪問、歓迎式) ・8月2日(金):雄武町(体験学習:雄武漁業組合見学(ホタテ工場、魚市場せり、冷凍庫見学)～おもうアグリファーム見学～ヨサコイ踊り体験・体験発表 ・8月3日(土):雄武町発～旭山動物園見学～苫小牧西港(船内泊) ・8月4日(日):船内見学～大洗港～益子町到着 ○8月4日(日) 事後研修を実施し、各小学生が今回の体験学習から何を学び、どう意識が変わったのかを理解・発表し、その意識を共有する。</p> <p>【令和2年以降】</p> <p>翌年度以降も同様に、8月上旬に北海道雄武町にて、本年度と同様の体験学習を行うことで、子どもたちに、雄大な自然の中での交流活動や生活体験の機会をあたえることにより、自立心、責任感、感謝する心を培いかわせる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】社会的に自立した人を育てる 【KPI】「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合 -%(H26)→88.5%(H31) 【実績値】80.3%(H30)</p> <p>【基本目標】社会的に自立した人を育てる 【KPI】「地域・社会活動をする人」の割合 56.4%(H26)→64.0%(H31) 【実績値】52.9%(H29)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	交流体験の翼事業 ・7/13結団式 ・8/1～8/4体験学習(北海道雄武町) ・8/31事後研修	交流体験の翼事業 ・結団式 ・体験学習(北海道雄武町) ・事後研修		交流体験の翼事業 ・結団式 ・体験学習(北海道雄武町) ・事後研修
事業費	1,848,829	1,450,000	3,098,829	1,450,000
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	600,000	1,200,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	600,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	1,048,829	850,000	1,898,829	850,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課
担当者名	関谷洋久
電話番号	0285-72-3101
連絡先 FAX	0285-72-3110
E-mail	svyuga@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	交流体験の翼事業		
対象年度	31	年度	
1 収入の部			
科目	精算額	備考	
繰越金	23,829		
補助金	900,000	町600,000円、地域間交流協会300,000円より	
負担金	525,000	参加者より35,000円×15人	
協賛金	200,000	NPO法人ましこイーまちネットより	
雑収入	0	利息等	
計	1,648,829		

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町	県交付金		
旅費	1,214,673	600,000	300,000	614,673	交通費914,809円、宿泊費299,864円
通信運搬費	6,696			6,696	郵送代
報償費	18,517			18,517	手土産代
印刷製本費	0			0	
食糧費	147,054			147,054	食事代
使用料及び賃借料	230,348			230,348	バス借上げ代、高速代(北海道内)
消耗品費	21,872			21,872	DVD等
繰越金	9,669			9,669	
計	1,648,829	600,000	300,000	1,048,829	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名

益子町

事業名

おもてなし補助金(陶器市巡回バス運行)事業

事業主体の名称

益子焼販売店協同組合

代表者の名称

理事長 大塚和美

事業主体の所在

栃木県芳賀郡益子町城内坂150

事業主体の概要

・団体の目的: 陶器市の企画立案及び運営を行うこと
・構成員等: 10名
大塚和美、中山武、小峰由香里、櫻井逸郎、篠原里子、上遠野美知子、塚本純子、塚本倫行、大塚好重、塚本央

当該事業に係る地域の現状と課題

益子町で春・秋に開催している陶器市には、年間約60万人の観光客の入込があるが、マイカーで来町する方が大半を占め、それを受け入れるだけの駐車場の確保が困難な状況が続き、長蛇の渋滞をまわっている。直近の2019年春の陶器市でも42万人もの観光客の入込があったが、隣の真岡市の高速道路ICから渋滞が続き、本来30分程度で真岡市ICから益子町まで辿り着くところ、陶器市期間中は到着まで2~3時間を要することになっており、途中で陶器市に行くのを諦め引き返す車両も多く見られ、来場者アンケート等でも渋滞について苦言を呈するものが多い。陶器市会場から離れた場所に大型の駐車場を確保することで、多少なり渋滞の緩和に繋がってはいるが、陶器市会場から、駐車場が離れていることもあり不便をきたしている。また、陶器市会場である城内坂から各駅、観光施設等は離れており、町内を車や徒歩で移動するにも陶器市期間中は大変不便な状況となっている。
上記の現状を踏まえ、巡回バスを各駅・各停留所に周回させ、車では無く公共交通機関での利用促進を促し渋滞を緩和するとともに、観光客の利便性を高めることで、誘客の機会喪失を防ぎ、観光客の満足度を高めることが必要となっている。

事業目的

周辺道路の渋滞を緩和するとともに観光客の移動を円滑化し、観光客の町内回遊と消費拡大を図る。

事業概要

【令和元年の取組】
本町で開催している陶器市で観光客を効率的に受け入れることは、町の主産業かつ生命線である観光業の活性化を左右する大きな問題である。
そこで、町の中心部で開催される陶器市会場へ各駅・各停留所から効率的に巡回バスを周回させる本事業を実施することで、公共交通機関での利用を促し、渋滞緩和・効率的な観光客の輸送促進に繋げるとともに、観光客の利便性を高め、誘客の機会喪失を防ぐ。
更に、「新まちこ未来計画」の基本目標、風土に根ざした産業をつくる環境を整え、KPI観光客入込数と満足度を高めることで、町の地方創生の充実に繋げていく。

・実施時期: 春の陶器市 / 令和元年4月27日~5月6日 48(6)人
・運行概要: 1日21便
益子駅西臨時駐車場-益子駅-鹿島神社-城内坂バス停-陶芸メッセ入口-つかもと広場-つかもと一つかもと一つかもと広場-陶芸メッセ入口-城内坂バス停-益子町役場-益子駅西臨時駐車場

【令和2年以降の取組】
前年度の利用状況等を踏まえ、便数や駐車場所をより拡充し、陶器市と連携して前年度より来訪者のニーズに合った巡回バスを運行する予定。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

基本目標: 風土に根ざした産業をつくる
KPI:
年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人
【実績値】平成30年度 275.3万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	H29年度	H30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	陶器市会場巡回バスの 運行	陶器市会場巡回バスの 運行	陶器市会場巡回バスの 運行		陶器市会場巡回バスの 運行
事業費	1,009,728	1,011,096	1,454,910	3,475,734	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	709,728	711,096	1,154,910	2,575,734	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロケーション係
担当者名	吉川
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	karkou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(陶器市巡回バス運行)事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	481,600	
観光協会負担金	673,310	益子町観光協会
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	1,454,910	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	1,428,840	300,000	150,000	1,128,840	巡回バス運行委託
手数料	540	0	0	540	口座振込手数料
使用料及び賃借料	25,530	0	0	25,530	駐車場借地謝礼
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,454,910	300,000	150,000	1,154,910	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子夜市)事業
事業主体の名称	益子夜市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 夏場・夜間の集客、ジャンルを超えたおもてなしの提供</p> <p>・設立年月日: 平成25年</p> <p>・構成員等: 13名 外池茂樹、大塚和美、上野一己、仲野信吾、大塚謙、菊岡祐子、櫻井逸郎、神谷耕司、馬場章信、塚本倫行、塚本裕昭、大塚道男、神田智規</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は、大都市圏から程近いという地理的な要因もあり、日帰り観光客の割合が非常に高い。(2019年に益子町が観光客向けに実施した宿泊の有無を訪ねるアンケート調査では、じつに90.7パーセントが日帰りという結果となった。)</p> <p>観光客に日帰りではなく、宿泊を選択してもらうには、「夕方から夜にかけての観光」をより魅力的なものにし、宿泊してでも訪れたいと思わせる動機づけが必要であるが、町内に夜間営業している販売店や飲食店は少なく、昼間は賑わいがあつたものの、夜は閑散としているのが現状である。</p> <p>そのため、今後いかに宿泊客数を増やし、観光客に滞在の長期化を促すとともに、まちの活性化を図っていくが課題である。</p>
事業目的	夏場・夜間に陶器やクラフトに限らずジャンルを超えたおもてなしを提供することにより、若者や子育て世代を中心とした誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、町内内部での連携強化を実現する。
事業概要	<p>【令和元年の取組】</p> <p>上記の現状を踏まえ、夜間に城内坂を歩行者天国にし、町内の焼き物店や飲食店、農家等のジャンルを超えた催しを実施することで、夕方から夜にかけて新たな観光消費と宿泊者の掘り起こしを図り、観光誘客・交流人口を増加させるとともに、滞在型観光地を目指した取組を推進した。</p> <p>《実施》: 令和元年8月10日18:00~21:30</p> <p>《会場》: 益子町城内坂通り</p> <p>《概要》: 城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行い、来場者をおもてなしする。周知の為にポスターチラシ作成。夜の安全確保のための照明、保険、看板設置、警備員配置を実施する。</p> <p>《実施内容》: ましこ音楽祭: 益子にゆかりのあるアーティストによるストリートライブ マルシェ: 飲食店、農園、商工会、祭若組等による飲食の提供、益子焼や灯りなどの雑貨の展示販売、浴衣着付けサービス、イベントラジオ放送、ゲーム催事や受付案内</p> <p>【令和2年以降の取組】</p> <p>令和2年以降も本年度同様の事業を継続して実施することで、更なる誘客強化と町内内部の連携を強化する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 風土に根ざした産業をつくる</p> <p>KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成28年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】平成30年度 275.3万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	/	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う
事業費	677,108	685,605	570,260	1,912,973	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	377,108	385,605	270,260	1,012,973	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	吉川
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子夜市)事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	70,260	出店料(売上の5%)
自己資金	200,000	城内坂通り会
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	570,260	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	12,000			12,000	ボランティアスタッフ謝礼
消耗品費	45,712			45,712	事業用消耗品費、お茶(スタッフ用)
印刷製本費	125,604			125,604	ポスター印刷、チラシ印刷
手数料	1,944			1,944	口座振替手数料
使用料・賃借料	21,000			21,000	会場使用料
委託料	364,000	300,000	150,000	64,000	ポスター・チラシ制作委託、会場仮設照明設置委託など
				0	
				0	
				0	
				0	
計	570,260	300,000	150,000	270,260	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(益子さんぼ市)
事業主体の名称	益子さんぼ市の会
代表者の名称	安嶋 一典
事業主体の所在	栃木県宇都宮市古賀志町1420
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:手仕事の町益子をアピールするために様々な種類のクラフト作家による出展を行う ・設立年月日:令和元年 ・構成員等:10名 安嶋一典、安嶋魁、黒崎通、太田幸博、太田菜摘、阿久津和子、阿久津希望、田中正、田中通子、小柳伸
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>昭和初期に興った民芸運動の舞台となった益子町では、伝統産業である「益子焼」をはじめ、「手仕事」の文化が今も受け継がれており、その素朴でどこか懐かしさを感じさせる町の雰囲気は、多くの観光客から高い評価を受けている。(益子町「来訪者アンケート調査」2019)</p> <p>しかしその一方で、「益子焼」の販売額がピーク時の1/3にまで減少している他、その他の手仕事に関わる業種も景気悪化や後継者不足により縮小傾向であり、「手仕事」に触れる機会が年々減少してきている。</p> <p>今後、益子焼の販路拡張や商店の活性化を図るとともに、国内外から、愛好家や消費者、そして陶芸家や焼きものを学ぶ人が集う「世界一」の焼きものの町として、いかにブランディングを行っていくかが課題である。</p>
事業目的	手仕事の町益子を町外にアピールし、著者を中心とした更なる交流人口の増加を図るとともに、陶芸・クラフト等の地域文化やライフスタイルを提案することにより、町へのU/Iターンや起業を促進する。
事業概要	<p>【令和元年】 本事業を実施することで、町の伝統産業である「益子焼」や「手仕事」に関わる業種の魅力を改めて発信し、継続的かつ効果的に益子町を「手仕事」の町として地域ブランディングを行った。 更に、町内での「手仕事」に係る新たな雇用創出、「手仕事」の再認知による長期的な地域活性を図り、新たな観光誘客に繋げ、地方創生の拡充に繋げた。</p> <p>【実施期間】:令和元年9月14日(土)～18日(月・祝) 【場所】:益子の森周辺の各店舗、つかもと陶芸広場 【実施内容】: ①里山さんぼ…ギャラリーウォークで益子の原風景である里山と店舗・登り窯をまわるイベント。作り手たち(作家・陶芸家)のいるアトリエやお店も訪れ、器が出来る過程や作家との会話を楽しんでもらう。 ②益子さんぼ市…クラフト作家の手作り作品を対象とした展示、販売、実演、そしてライブを実施する。その他、総合案内にて町へのU/Iターンを促進するため、町発行「益子のくらし」という移住情報誌等を設置し、各種情報提供を行う。</p> <p>【令和2年以降の取組】 令和2年以降も本年度同様のイベントを継続して実施することで、益子焼に限らず様々な手仕事を町外へ広くPRしていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:風土に根ざした産業をつくる</p> <p>KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】平成30年度 275.3万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ	/	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライ ブ
事業費	1,535,670	1,160,607	903,910	3,600,187	900,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	262,607	300,000	862,607	300,000
うち県交付金	150,000	131,303	150,000	431,303	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,235,670	898,000	603,910	2,737,580	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	吉川
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mamshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子さんぽ市)事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	585,200	7,600円(1日)×77事業所事業者(延べ)
自己資金	18,710	
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	903,910	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
旅費	8,256			8,256	ガソリン代、有料道路通行券
広告宣伝費・通信費	69,589			69,589	郵送、マスコミ、のぼり
委託料	519,600	300,000	150,000	219,600	企画営業、出展募集、ネット、出演費
印刷製本費	124,264			124,264	チラシ、ポスター、DM、参考図書他
消耗品費・原材料費	19,321			19,321	合羽、誘導棒他
報償費	101,880			101,880	誘導、受付スタッフ
食糧費	50,000			50,000	出演者分弁当、当日のスタッフ分飲料
食糧費(補助対象外)	11,000			11,000	スタッフ弁当
				0	
計	903,910	300,000	150,000	603,910	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の新そば祭り)事業
事業主体の名称	益子の新そば祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 宇津木 智
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	・団体の目的: 益子産そばの周知、普及を図り、生産の拡大と観光誘客 ・設立年月日: 平成18年 ・構成員等: 10名 宇津木智、萩原進、斉藤実、寺方祐輔、西谷明子、上野一巳、神田智規、鈴木幸一、大塚和美、山崎祥子
当該事業に係る地域の現状と課題	当町は益子焼の認知度は高いものの、町については観光地でありながら深く認知されておらず、地域ブランド調査2018では総合順位を前年から上げた(486位→450位)ものの低位にある。 そんな中、町の認知度向上のため益子焼以外の観光資源の創出が必要不可欠となったため、以前より町内での生産量も多く、飲食店の数も多い「そば」に注力しPRを行ってきた。しかしながら、雑誌等にも度々掲載されながらも今だ「そば」を目的としての観光客が伸び悩んでいるのが課題である。
事業目的	益子産そばの周知・普及を図り、益子焼だけでなく益子の魅力、ブランド力を向上させ、観光誘客をはかる。益子焼の販売店とコラボした新そばめぐりのイベントを行うことで町内を回遊し益子焼の消費拡大を促す。
事業概要	【令和元年の取り組み】 「そば」という埋もれた地域資源をより磨きあげ、老若男女に「益子そば」のPRを拡大することにより、観光消費の拡大や雇用の創出を図るとともに、町の総合戦略に掲げる観光客入込数をより増加させ、地方創生の試みを拡大するため、以下の事業を実施する。 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 開催期間: 11月9日～30日 会場: 各店舗 内容: 話題のスーパーフード蕎麦の実を使用したオリジナルメニューの提供 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 開催期間: 11月23日、24日 会場: 道の駅まじこ 内容: 益子の蕎麦・蕎麦粉を使ったメニューや蕎麦関連商品の販売 3. 観光パンフレットの制作 (1) 益子のそばマップ制作 (2) テラシ 【令和2年以降の取り組み】 今年度と引き続き事業を継続することで、観光資源としての益子そばを町外へ広く普及させる。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標: 風土に根ざした産業をつくる KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】平成30年度 275.3万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 3. 観光パンフレットの制作	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 3. 観光パンフレットの制作	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 3. 観光パンフレットの制作		新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 3. 観光パンフレットの制作
事業費	295,474	450,000	450,000	1,195,474	450,000
市町支出金 (ソフト事業分)	196,982	300,000	300,000	796,982	300,000
うち県交付金	98,491	150,000	150,000	398,491	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	98,492	150,000	150,000	398,492	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	吉川
電話	0285-72-8846
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子の新そば祭り)事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	150,000	参加料(@3,000×10店舗)・出店料(売上の10%) 広告負担費
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	450,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	270,850	270,850	135,425	0	チラシ・ポスター制作他
手数料	2,300			2,300	口座振込手数料
広告費	81,950	29,150	14,575	52,800	新聞折込・広告掲載
使用料及び賃借料	94,900			94,900	会場使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	450,000	300,000	150,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の雛めぐり)事業
事業主体の名称	益子の雛めぐり実行委員会
代表者の名称	委員長 塚本ゆ美子
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	団体の目的: 益子の雛めぐりの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日: 平成21年 構成員: 18名 塚本ゆ美子、中山久美、直井雅子、櫻井敦子、大塚ゆかり、井上美智代、小野沢則子、佐藤麻奈、木村真由美、濱田雅子、神田智規、日渡君江、高橋美江、大塚和美、塚本裕昭、斉藤哲雄、塚本久美子、大塚達
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は、ギャラリーやショップが1km以上もある城内坂があり、益子焼をはじめとする手仕事文化として発展してきた。一方で近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH28年の販売額は29億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、中世の文化財をはじめとする古い建物が多く、着物が似合う町であるような益子焼以外の地域資源の磨き上げやそれらの町外へのPRが必要である。
事業目的	益子ならではの陶雛、土雛、吊るし雛などを展示販売し、観光客を誘致する。また、各会場が連携して事業を実施し、おもてなしするとともにクリズラーにより観光客が各会場を回遊することにより、誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、通年型のにぎわう観光まちづくりを実現する。
事業概要	【令和元年の取組み】 本町は中世の文化財をはじめとする古い建物が多く、「文化の町である」という特色があるため、代々各家に受け継がれているひな人形や着物を益子焼と共に活用した以下の事業を実施した。 これにより、既存の益子焼と新たなコラボレーションによる観光資源を創出し、地方創生の観点から新規の観光客誘致・インバウンド誘致を図り、交流人口の増加を見込む。 《開催期間》: 令和2年2月8日(土)~3月3日(火) 《実施内容》: 益子の雛めぐり~見る・体験する・味わう・買う~ 益子ならではの陶雛、お雛籠、吊るし雛などの展示・販売を行う。 1. オープニングイベント・展示 会場: 道の駅まじこ、各会場 内容: 「お雛籠お披露目」茶碗やぐい飲みにお雛様の絵付けをした「お雛籠」の集合展示販売(道の駅まじこ) 陶雛、お雛籠、吊るし雛などの展示・販売 雛スイーツ、雛ドリンク、雛限定メニューの提案 ワークショップの実施・雛めぐりスタンプラリーの実施 2. クロージングイベント「桃雛祭り~コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」 実施: 雛仮装コンテスト・着物レンタル・雛マルシェの開催 【令和2年以降の取組み】 令和2年以降も上記と同様の事業を継続して実施し、閑散期を無くすことで通年型の観光まちづくりを実現する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標: 風土に根ざした産業をつくる KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】平成30年度 275.3万人

年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	益子の雛めぐりの実施 1. オープニングイベント・展示 2. クロージングイベント 「桃雛祭り~コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」	益子の雛めぐりの実施 1. オープニングイベント・展示 2. クロージングイベント 「桃雛祭り~コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」	益子の雛めぐりの実施 1. オープニングイベント・展示 2. クロージングイベント 「桃雛祭り~コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」	/	益子の雛めぐりの実施 1. オープニングイベント・展示 2. クロージングイベント 「桃雛祭り~コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」
事業費	748,700	797,383	819,236	2,365,319	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	448,700	497,383	519,236	1,465,319	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロモーション係
担当者名	吉川
電話	0285-72-8848
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.meshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金事業(益子の雛めぐり)	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
参加費	134,000	
広告費	60,000	
販売収入、利息	125,236	
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
補助金	100,000	益子町観光協会
助成金	100,000	益子町商工会
計	819,236	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	432,810	300,000	150,000	132,810	ポスター、チラシ、参加募集、マップ、印刷費
消耗品費	188,790			188,790	折り紙、画用紙、人五紐他
食糧費	398			398	
景品代	78,640			78,640	スタンプラリー景品等
報償費	35,519			35,519	
賃借料	4,520			4,520	施設使用等
通信費	59,986			59,986	参加通知、広報物郵送等
広告宣伝費	5,500			5,500	真岡新聞掲載新聞折り込み代、下野新聞広告掲載料
手数料	13,073			13,073	販売手数料、振込手数料他
				0	
				0	
計	819,236	300,000	150,000	519,236	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(ましこdeカフェ)事業
事業主体の名称	mashiko de café 実行委員会
代表者の名称	委員長 神田智規
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字長堤2271
事業主体の概要	団体の目的:「ましこカフェ」のブランド化を推進する 設立年月日:平成29年 構成員:11名 神田智規、中山久美、濱田雅子、山崎祥子、小堀俊也、高橋裕也、田村大作、高木香織、広田知、佐々木絵美、鈴木恵深
当該事業に係る地域の現状と課題	町内には多くの人気カフェ店が点在しているが、2019年に益子町で行った来訪者へのアンケート調査でも、カフェ目的は少ない結果となっており、個店それぞれの取組みにより集客力をあげているが「益子=カフェ」というイメージはまだ浸透していない。 今後、「ましこカフェ」を益子町の新たなブランド・地域資源として磨き上げ、町外へPRするなど、いかに町の風土に根ざした産業を作り、町内経済の活性化を推進していくかが課題である。
事業目的	町内カフェ店の横のつながり醸成と、つながりをもったことによる互いの相乗効果(新商品共同開発・周遊型観光の実施など)を期待する。カフェイベントを道の駅で開催することにより、複数のカフェ店を一会場でPRすることができ、その後の店舗への誘客に繋げることが期待出来る。 イベントで使用するコーヒーカップは、地元特産品である益子焼を使用することで、益子焼の魅力も感じてもらい、特産品の販売促進を狙う。
事業概要	【令和元年度の取組】 本事業により、町内約50店舗のカフェが連携し、「ましこカフェ」としての意識共有や繋がりを作る機会を設け、地元食材を使用(地産地消)した共通メニューの開発に取り組むこととし、「カフェの町ましこ」としてのブランド価値を高めていく。 また、益子焼というハードに、カフェイベントというソフト事業、会場までの自転車による移動で町の自然を体感してもらうといった周遊型のソフト事業を掛け合わせるにより相乗効果を狙い、地域の活性化及び交流人口の増加を図ることで地方創生事業の充実を図る。 《実施日》:令和元年6月9日(日) 《実施内容》: ・益子焼のカップで楽しむ益子時間 ・ましこdeカフェお楽しみ抽選会 ・「まし子さん」をみんなで描こう タペストリーづくり ・町長のカフェマスター 《同時開催》:ポタリングましこガイドツアー「ポタリングでカフェ巡り」 【令和2年度以降の取組】 令和2年以降も今年度と同様の事業を継続し、益子の新たな観光資源としての「カフェのまち益子」を推進していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:風土に根ざした産業をつくる KPI: 年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 240万人 令和2年度250万人 【実績値】平成30年度 275.3万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	令和3年度
事業内容	○ましこdeカフェ ・益子焼のカップで楽しむ益子時間 ・ましこdeカフェお楽しみ抽選会 ・「まし子さん」をみんなで描こう タペストリーづくり ・町長のカフェマスター ・同時開催:ポタリングましこガイドツアー「ポタリングでカフェ巡り」	○ましこdeカフェ ・益子焼のカップで楽しむ益子時間 ・ましこdeカフェお楽しみ抽選会 ・「まし子さん」をみんなで描こう タペストリーづくり ・町長のカフェマスター ・同時開催:ポタリングましこガイドツアー「ポタリングでカフェ巡り」		○ましこdeカフェ ・益子焼のカップで楽しむ益子時間 ・ましこdeカフェお楽しみ抽選会 ・「まし子さん」をみんなで描こう タペストリーづくり ・町長のカフェマスター ・同時開催:ポタリングましこガイドツアー「ポタリングでカフェ巡り」
事業費	450,000	450,000	900,000	450,000
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	300,000	600,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	300,000	
市町支出金(ハード事業分)				0
うち県交付金				0
その他自主財源等	150,000	150,000	300,000	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロモーション係
担当署名	吉川
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金事業(ましこdeカフェ)	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	98,750	出店料(売上の10%)
協賛金	51,250	道の駅ましこより(イベント会場)
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	450,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	35,000			35,000	出演料
消耗品費	114,362	100,000	50,000	14,362	会場設営材料代
印刷製本費	148,280	100,000	50,000	48,280	ポスター、チラシ制作
使用料及び賃借料	122,358	100,000	50,000	22,358	会場使用料 備品賃借料他
委託料	30,000			30,000	音響委託
計	450,000	300,000	150,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)
事業主体の名称	NPO法人 MCAA
代表者の名称	アンドリュー・ゲムリッチ
事業主体の所在	益子町大字益子706-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:窯業事業者をはじめとする、やきものの町・益子を取り巻く人々に対して、作家のネットワークづくり、国内外との文化交流活動等を行い、創作環境の整備、まちの活性化に寄与することを目的とする。(団体「定款」から抜粋)</p> <p>・設立年月日:平成22年12月25日</p> <p>・構成員等:横尾聡、筆谷淑子、石嶋哲彦、小貫善二、栗谷昌克、鈴木京子、横尾恵美子、ゲムリッチ・アンドリュー・ジョーダン、藤原育三、鈴木潤子、鈴木稔</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町の観光客の大半は日帰り個人客で、年間観光客数は平成24(2012)年の196万人から年々減少していたが、平成27(2015)年からは緩やかに増加傾向に転じた。平成30(2018)年度の観光客入込数は275.3万人となっており、平成24(2012)年と比べると大きく増加しているものの、そのうち77.7万人は平成28(2016)年10月にオープンした道の駅ましこのものであり、その分を除くと197.6万人となり、依然として平成24(2012)年の水準のままであるといえる。</p> <p>本町には、陶芸をはじめとした民藝の文化や、中世の歴史的建造物、美しい里山などの観光資源が豊富にある。今後より一層、外国人を含めた観光客の誘客、宿泊供給体制の構築が必要となる。</p>
事業目的	<p>・海外陶芸作家と協力し、手仕事や伝統工芸の良さを町内を含む国内外の人々に観覧する機会を提供する。</p> <p>・海外陶芸家とのワークショップ等を通じ、窯業技術及び質の向上、窯業技術者の育成・支援を図る。</p> <p>・これらを通じ、広く消費者にPRし、焼き物の町としての魅力アップを図る。</p>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>・英国陶芸作家との交流事業。具体的には、英国の陶芸作家を8/23～29に招聘し、講演会や作品展示を行い観光誘客を図るほか、滞在期間中のワークショップ・町内でのホームステイ等を通じ、陶芸作家及び地域住民との交流を図る。そして、これらの取組を数年にわたり継続的に行っていくことで、町内における国内外との交流人口の増加につなげるとともに、町内で活動する陶芸作家の技術及び質の向上や町民の豊かな感性の醸成につなげ、本町における地方創生の取組を推進する。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定)を継続的に行っていくことで、町内における国内外との交流人口の増加につなげるとともに、町内で活動する陶芸作家の技術及び質の向上や町民の豊かな感性の醸成につなげ、本町における地方創生の取組を推進する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:風土に根ざした産業をつくる</p> <p>「世界一」人が集う焼きものの町づくり…KPI:益子焼総販売額(H25:32億円→H31:38億円(3年毎の調査指標のため))、実績値:29.2億円(H28)</p> <p>観光客誘客の拡大…KPI:観光客入込数(H26:185万人→H32:250万人)、実績値:275.3万人(H30)、観光客宿泊者数(H26:1.7万人→H32:3万人)、実績値:47,515人(H30)</p> <p>外国人観光客(インバウンド)の誘客…KPI:外国人観光客宿泊者数(H26:338人→H32:700人)、実績値:1,157人(H30)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	・韓国陶芸作家との交流事業(韓国・益子の陶芸作家企画展のほか、ワークショップ等を通じての益子作家及び地域住民との交流事業)	・英国陶芸作家との交流事業(英国・益子の陶芸作家企画展のほか、ワークショップ等を通じての益子作家及び地域住民との交流事業)	・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定。事業費については31年度と同額計上)		・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定。事業費については31年度と同額計上)
事業費	1,173,100	364,706	363,700	1,901,506	363,700
市町支出金(ソフト事業分)	782,000	242,000	242,000	1,266,000	242,000
うち県交付金	391,000	121,000	121,000	633,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	391,100	122,706	121,700	635,506	121,700

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 企画課 地方創生担当
担当者名	佐藤 巧
電話	0285-72-8828
連絡先 FAX	0285-72-7601
E-mail	kikaku@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	242,000	益子町地域創生活動費補助金
自己資金	122,706	
計	364,706	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
報償費	20,000	13,300	6,650	6,700	ワークショップ講師等謝礼
旅費	83,760	55,800	27,900	27,960	英国陶芸家等2名宿泊費 " 国内旅費
食糧費	29,471	19,600	9,800	9,871	英国陶芸家2名食事費 " レセプション等
印刷製本費	35,000	23,300	11,650	11,700	ポスター、リーフレット、DM等作成費
光熱水費	15,600	10,400	5,200	5,200	ワークショップ時焼成費
通信運搬費	67,858	45,200	22,600	22,658	作品搬出費、ポスター・リーフレット・DM郵送料
使用料	46,500	31,000	15,500	15,500	ギャラリースペース等使用料
原材料費	63,760	42,400	21,200	21,360	ワークショップ時陶土代
消耗品費	2,757	1,000	500	1,757	封筒、文具類
計	364,706	242,000	121,000	122,706	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調査)
【単体事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)
事業主体の名称	亀岡八幡宮里山の会
代表者の名称	床井 秀夫
事業主体の所在	益子町大字小宅1372-3
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 地域協働による森林・山村の多面的機能の発揮のための活動を通じ、地域活性化を図ることを目的とする。(団体「規約」から抜粋)</p> <p>・設立年月日: 平成25年8月25日</p> <p>・構成員等: 小倉昭三、佐藤敬司、床井秀夫、谷口健、関戸一彦、横山仁美、小野薫、床井文夫、小倉実、横山孔、床井宏、中山正夫、赤羽幸一、明石哲夫</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業の実施場所である益子町小宅地区においては、長年の間、地域の資産である県指定史跡「小宅古墳群」(県指定は17基)の5ヘクタールにも上る広大な敷地の管理が十分に行き届いておらず、竹林は放置され、雑草が繁茂する状態であった。そこで、平成25年8月に地域住民が中心となり本事業の実施主体である亀岡八幡宮里山の会が発足し、古墳群の環境整備と観光資源としての活用を目指し、手弁当での活動が始まった。</p> <p>しかし、地域での後継者不足による活動の縮小化や構成員の活動意欲の低下、会費や寄付による活動資金の不足が今後の課題となっているため、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、資金の潤沢化を行う必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小宅古墳群の保存と保護 ・神社や古墳への誘客 ・菜種油の販売 ・地域コミュニティの醸成
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>・小宅地区の地域資産である県指定文化財「小宅古墳群」を含む区域の放置竹林の伐採(目標300本)、除草、植樹した桜の手入れ、菜の花の播種を行い、区域の景観保持と文化財の保護を図るとともに、それらの地域資産を活用した大規模花畑(菜の花及び桜)を展開することにより、年間15,000人の観光誘客を目指す。また、地域の小学生に社会科見学の場を提供する(目標年間160人)。さらには、菜の花畑で採れた菜の花から菜種油を精製し来場者に販売(目標200本)することで、活動資金の充実を図る。これらの取組により、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、資金の潤沢化につなげ、地方創生の取組を推し進める。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>・平成31年度事業を発展・継続させ、観光誘客の増加、地域の小学生の社会科見学の場の提供、自家製菜種油の精製・販売などを行うことで、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、活動資金の潤沢化につなげ、地方創生の取組をさらに推し進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 幸せを感じる暮らしをつくる 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備・・・KPI: 里山整備実施箇所数(累計)(H26: 24箇所→H32: 40箇所)、実績値: 36箇所(H30)</p> <p>基本目標: 地域資産を蓄積する 特色をいかした地域創生・・・KPI: 地域への愛着や誇りを感じる人の割合(H26: 74.1%→H32: 80.0%)、実績値: 72.3%(H29)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度	
事業内容	・小宅地区の地域資産である県指定文化財・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、桜の植樹、菜の花の播種を行い、区域の景観保持とともに、地域資産を活用した大規模花畑により観光誘客を図り、美しい里山の景観を次世代に引き継いでいく。	・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、植樹した桜の手入れ、菜の花の播種を行い、観光誘客の増加、地域の小学生の社会科見学の場の提供、自家製菜種油の精製・販売などを行うことで、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、活動資金の潤沢化につなげる。	・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、植樹した桜の手入れ、菜の花の播種を行い、観光誘客の増加、地域の小学生の社会科見学の場の提供、自家製菜種油の精製・販売などを行うことで、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、活動資金の潤沢化につなげる。			・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、植樹した桜の手入れ、菜の花の播種を行い、観光誘客の増加、地域の小学生の社会科見学の場の提供、自家製菜種油の精製・販売などを行うことで、地域内外からの活動参加者の増加や構成員の活動意欲の向上、活動資金の潤沢化につなげる。
事業費	400,000	600,400	600,000	1,600,400	600,000	
市町支出金(ソフト事業分)	266,000	400,000	400,000	1,066,000		
うち県交付金	129,495	195,032	200,000	524,527		
市町支出金(ハード事業分)				0		
うち県交付金				0		
その他自主財源等	134,000	200,400	200,000	534,400	600,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 企画課 地方創生担当
担当者名	佐藤 巧
電話	0285-72-8828
FAX	0285-72-7601
E-mail	kikaku@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	400,000	益子町地域創生活動費補助金
自己資金	200,400	
計	600,400	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	138,410	92,273	46,136	46,137	草刈り機・ハンマーナイフ替刃、エンジンオイルエレメント等
食糧費	15,300	9,935	0	5,365	活動時お茶代
原材料費	305,665	203,776	101,888	101,889	菜種代、肥料代
使用料及び賃借料	104,745	69,830	34,915	34,915	重機賃借料
燃料費	36,280	24,186	12,093	12,094	作業用燃料費(ガソリン・混合油・軽油)
計	600,400	400,000	195,032	200,400	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域創生活動費補助事業(益子の風土を未来に継ぐ、文化交流と地域コミュニティメディア創出事業)
事業主体の名称	ヒジノワ
代表者の名称	大塚 康宏・鈴木稔(共同代表)
事業主体の所在	益子町大字益子1665番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:①コミュニティカフェの企画運営に関する活動、②学術、文化、芸術の振興を図る活動、③まちづくりの推進を図る活動</p> <p>・設立年月日:2010年7月10日</p> <p>・構成員等:大塚康宏、鈴木稔、池田絵美、石川恵子、板野修次、岡崎多実子、小山博子、高田純子、高田英明、萩原潤、羽持真弓、古川小道、古川潤、松永玲美、梶田理香、武藤俊郎、柳真美子、渡邊みずき、宮本恵美、松下曜子、船越弘</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>益子町では、各地域の歴史や風土について熟知した町民の高齢化が進み、様々な地域行事や風習の後継者不足の深刻化、担い手の固定化が起き、地域の活性化や人材の新陳代謝が阻まれている現状がある。また、これにより若年層への地域の歴史・風土の伝承が進まないことで、町総合戦略に掲げるKPI「地域への愛着や誇りを感じる人の割合」でも、「H26実績値:74.1%→H29実績値:72.3%」と減少しており、今後も遺産の風化が進んでいく恐れがあるのが現状である。</p> <p>今後、地域の歴史・風土を掘り起こし、価値づけを行いながら、体験プログラムや地域メディアへの記録・公開を通して町民等に広く周知し、何らかの形で記録し、いかに後世に引き継いでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・地域の歴史・風土を掘り起こし、価値づけを行いながら、体験プログラムや地域メディアへの記録・公開を通して後世に引き継いでいくことで、地域の歴史や風土などの遺産の風化を防ぐとともに、地域資源として地域活性化への活用を図る。</p> <p>・地域行事や風習の後継者と町外と同様な立場の方々をつなぐ交流を促進することにより、地域行事等の活性化や新たな担い手の確保につなげる。</p>
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>①本町山本地区の伝統芸能である農村歌舞伎の担い手と、後進ながらも農村歌舞伎舞台を復活させ、活発に同様の活動をしている栃木市西方地区の市民との交流の場を設け、共に学びあい、刺激があった。これにより、それぞれの地域活動の活性化と協働による新たな価値の創造を図り、地方創生の充実に向けた。</p> <p>(1)8月4日 農村歌舞伎舞台継承地域間交流事業勉強会</p> <p>(2)12月8日 栃木市西方地区ヘスタディツアー(西方と田舎祭り視察)</p> <p>②本町における縄文時代の人の営みに焦点をあわせ、土器や土偶ではなく「食」や「種(木の実)」に注目したフィールドワークや講演会、ワークショップを開催することで、本町で縄文人が暮らした痕跡をたどりながら、現代の食文化や森づくり等自然との共生に重点を置いた暮らしを考える機会を提供し、本町で暮らしを営むことの価値の再発見につなげると共に、地方創生の推進を図った。</p> <p>(1)9月29日 ヒジノワメンバー実行委員「縄文会」で事前の調査フィールドワーク</p> <p>(2)11月24日 縄文の痕跡等をたどるフィールドワーク「たねと縄文」風景遠足」&マップ制作ワークショップ第1回 →台風のため中止し、お話を開催</p> <p>(3)12月14・15日 「たねと縄文」身近な遺跡と遺物展」開催</p> <p>(5)12月14日 カラムシと瑪瑙(メノウ)のペンダントづくりワークショップ</p> <p>③上記の活動をアーカイブとして記録し、広く公表を行う「地域コミュニティメディア」事業を進めることで、町民や地域住民の風土理解の促進を図るとともに、町外に向けた魅力発信を行い、地域の活性化及び交流人口の増加を図ることで地方創生事業の充実を図った。</p> <p>(1)①の栃木市西方地区の市民との交流について、事業終了後から3月16日までに、ライティング担当者がアーカイブ記事を作成し、地域コミュニティウェブサイト上で公開した。</p> <p>(2)②のフィールドワーク、講演会、ワークショップについて、10月～3月16日までに、随時ライティング担当者がアーカイブ記事を作成し、地域コミュニティウェブサイト上で公開した。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>・平成31年度事業を発展・継続させることで、地域の歴史等の保存・活用を進め、地域の魅力の再発見や町外への発信を行う。それにより、地域活性化や地方創生の取組をさらに推し進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>特性をいかした地域創生・・・KPI:地域への愛着や誇りを感じる人の割合(H26:74.1%→H32:80.0%)、実績値:72.3%(H29)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

	平成31年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>・本町の伝統芸能である農村歌舞伎の担い手と栃木市西方地区の住民との交流の場を設ける。</p> <p>・本町における縄文時代「食」や「種(木の実)」に注目したフィールドワークや講演会、ワークショップを開催する。</p> <p>・上記の活動をアーカイブとして記録し、広く公表を行う「地域コミュニティメディア」事業を進める。</p>	<p>平成31年度事業を発展・継続させることで、地域の歴史等の保存・活用を進め、地域の魅力の再発見や町外への発信を行う。(詳細未定。事業費については31年度と同額計上)</p>		<p>平成31年度事業を発展・継続させることで、地域の歴史等の保存・活用を進め、地域の魅力の再発見や町外への発信を行う。(詳細未定。事業費については31年度と同額計上)</p>
事業費	274,941	340,000	614,941	340,000
市町支出金(ソフト事業分)	178,000	199,000	377,000	0
うち県交付金	89,000	99,000	188,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	0
うち県交付金			0	
その他自主財源等	96,941	141,000	237,941	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 企画課 地方創生担当
担当者名	佐藤 巧
電話	0285-72-8828
FAX	0285-72-7601
E-mail	kikaku@town.nashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域創生活動費補助事業(益子の風土を未来に継ぐ、文化交流と地域コミュニティメディア創出事業)	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	178,000	益子町地域創生活動費補助金
自己資金	89,941	
参加者負担金	7,000	交流会食事代500円×14名
計	274,941	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	10,876	7,200	3,600	3,676	展示・ワークショップ時等消耗品
旅費	12,000	8,000	4,000	4,000	講師交通費:4,000円×3回
食糧費	31,515	16,000	8,000	15,515	交流会 有識者食事・お茶代:22,816円(15人) スナック等 有識者昼食・お茶代:8,700円(6人)
委託料	140,000	93,200	46,600	46,800	ウェブ制作等委託料:130,000円 展示企画・運営委託料:10,000円
報償費	80,000	53,300	26,650	26,700	講師出演料(トークセッション):16,000円×2回 講師謝礼(勉強会等):10,000円×5回
手数料	550	300	150	250	委託料口座振込手数料
計	274,941	178,000	89,000	96,941	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合